

県央商工振興連絡協議会視察研修報告

2月16日(木)に兵庫県尼崎市の地域通貨「あま咲きコイン」の取組を視察研修しました。

県央商工振興連絡協議会とは、3市(日田市・由布市・大分市)2町(玖珠町・九重町)の行政と商工会、計10名で構成する会です。行政と商工会がタイアップすることで、商工観光に係る地域振興に即応することを目的として活動をしている広域組織です。

3年ぶりの開催となった今回の視察の目的は、コロナ禍や物価高騰で疲弊する地域経済に好循環を生み出し、キャッシュレス化をもたらす地域通貨の仕組みを研修し、持続可能な地域づくりを目指すものです。

地域通貨のメリットは、

- ① 現在販売しているプレミアム商品券でわかるとおり町内での消費を促進することが出来ます。
- ② 電子マネー化(アプリ型・カード型)で購入者の利便性や管理と配布の負担軽減ができます。
- ③ 健康づくり、ボランティア、スポーツ、生涯学習や環境・SDGsの活動に対してポイント付与して促進が出来ます。
- ④ 子育て支援、高齢者支援の給付金や支援金、各種祝金の交付を地域通貨で行います。

尼崎市での導入時の課題として大都市圏であり、仕組みが理解されにくく加盟店の拡大が難しかったようです。これに対して玖珠町では、

- ① くすくすカードの仕組みがあり、理解がしやすい。
- ② 町が進めるデジタル化の推進体制(サポーター制度)がある。
- ③ 地域コミュニティが確立しており、様々な活用が見込める。
- ④ 観光振興のアイテムとなりえる。

以上のことから玖珠町商工会としても地域通貨を導入して、町内の多くの町民と加盟店で「くすくすコイン(仮称)」が使われることにより、導入時の負担は大きいですが、玖珠町と協力して「将来世代への投資」を行い「自立した持続的な地域づくり」を目指します。

参考資料:電子通貨あま咲きコイン ガイドブック(玖珠町商工会 HP 参照)